

9月18日(水)感染委員会議事録

参加者:株式会社Gree及び Anchor 株式会社運営事業所管理者&指導員

感染委員会

☆感染対策冬(冬)研修

- ・各事業所の感染対策の行い方・消毒の仕方 /口とかインフル時にはどう対応するのか。
- ・アルコール等の使い方&管理 アルコールは何に対して効果が強いのか。
- ・おもちゃはふきあげなくていいよにしたい…おそらく次亜?

アルコールの使っちゃいけない状況やどんな物に対して強いのか&どんな使い方がいいのか

次亜塩素酸について調べる (厚生労働省のもの)

アルコールと次亜塩素酸について調べた後、各事業所何を使ってどうやって管理していくのかを検討&統一

10/2 研修時に対応の共有 各リーダーの辻村T・町田Tに話した上で!

アルコールor次亜塩素酸どちらか統一は可能か!

☆加湿器はいつから出すのか

- ・各事業所リーダーと相談

☆冷房について

- ・梅雨の時期のエアコンのかび(特に羽のところ)梅雨の時期は定期的に掃除をしていけほしい?
- ・↑来年度のマニュアルに入れる

☆年末の掃除

まとめて声を掛けてくれる ・コンテナは中身がいっぱいになるまで!

☆現在各事業所でアルコールを使っている場面

…帰って来た時&おやつ前

…おやつ前&おもちゃ消毒&机拭き時

…食前のテーブル拭き

☆今後の対応

- ・次亜塩素酸は管理が難しく、無理して管理をしてまで得られる効果がアルコールとそこまで変わらないため、toys・switch はアルコールでの消毒を続けていく。
- ・特支は尿の匂い等への対策もあるためどちらも使っていく。管理は 責任を持って行っていく。 **ボトルで1週間、タンクで1カ月。**
- ・アルコールによりプラスチック等一部の玩具が溶けることがあるみたいだが、今現在見られていないので今後あれば共有してもらおう。
- ・また次亜塩素酸はノロウイルスにかなり効果的なためノロウイルスが流行る **11月~2月**の間は toys・Switch でも使っていく。切り替わりのタイミングは感染委員会で管理する。

5月7日 感染委員会書記

参加者

株式会社 Gree 及び Anchor 株式会社の運営事業所の管理者、指導員

感染委員会

○嘔吐処理

・マニュアル

・6月、10月→研修(月1でもあり?)

・5月、9月→委員会 書記と実践

※年2回の研修で委員会職員から有用な情報を提供もしくは委員会職員で研修を回す

※環境・衛生面について気づいた人がやるをなくすためにシステムに取り入れるのかやらなくてもいいようにするのか

○清掃について

・抜き打ちできれいな場所、汚い場所の写真を撮る

・駐車場の草取りや窓の隙間など毎日に行わない所の掃除

(週1・月1・年1どのくらいの頻度で行うか)

※気づいた人が行うのではなく担当のスタッフがしっかりアンテナ張る

※人によって掃除のやり方は異なるができることなら統一を目指したい

○感染症対策

Toys・Switch/II・Nursery(児発)

・日常的な消毒(使っていないおもちゃも)溶けてしまうおもちゃは消毒 BOX

・換気(何分開けとくか)

・モップ掛け

・車内の消毒

Toys・Switch/II・Nursery(放デイ)

・おやつ前の手指消毒

・おやつ時対面で座らない

・車内の消毒

・グリーについてからの検温・消毒

・使ったおもちゃの消毒

○アルコールなどの使い方・管理

アルコール インフルエンザやコロナに効果的

次亜塩素酸 ウイルス全般に効果的

※保管期間 タンクで3か月～6か月
ボトルで1週間

※アルコールと次亜塩素酸どちらか統一して使うのか状況に

Map

- ・グリーについてからの検温・消毒
- ・車内の消毒
- ・ドアノブの消毒
- ・使ったおもちゃの消毒
- ・おやつ前の手指消毒

※利用者は普通の人より身体が弱い

※利用者に強制ではなくスタッフが配慮していく

○発熱時

- ・発熱の子(37.5)がいた場合は別室に連れていきその子がいた場所は消毒する
- ・体温がこもっている可能性もあるので別室にいき上に来ている衣類を脱げる範囲で脱がせて様子を見る(15分程度)
- ・あからさまに鼻水、嘔吐、咳がある場合にはお迎えをお願いします
- ・熱がなくてもお迎えをお願いする場合がありますがその場合も気分の落ち込みなのか疲れなのか様子を見る

○水遊び

- ・長時間は行わずタイミングを見て終わる
- ・水遊び後は冷房を使用せず窓を開け室内温度と外気の温度の差をできるだけ小さくする

○アクアクララについて

- ・注文時にストック10本あるように(上下で20本)
 - ・水道が止まった時でも使える(トイレなど)
- ※何本水が置けるのかの確認

感染症対策～株式会社 Gree としての取り組み～

政府・自治体からの要請・指導の下、利用者様、保護者の皆様、従業員並びに関係者様の安全確保を最優先し、下記の通り感染症の感染拡大防止に向け現在も一丸となって取り組んでおります。

(1) 感染症対策実施について（利用者様・職員）

利用者様の来所の際は、手指消毒・手洗い、検温の実施を徹底しております。

事業所内各所、並びに送迎者や玩具など複数の職員や利用者様が共有するものを毎日消毒しております。毎日複数回窓を開けての換気を行っており、設備として24時間強制換気システムも導入しております。

職員は入社時に検温し、利用者様は来所時の検温とは別に連絡ノートにて当日朝のご自宅での検温実施結果をお知らせいただき、37.5℃以上の発熱や咳等の呼吸器症状、倦怠感があつた際には利用を控えていただいております。来所後、利用者様及び職員に上記の症状が出た場合には帰宅を要請しております。

(2) 職員の健康チェック

上記以外にも体調の変化や37.5℃以上37.5℃未満の体温の場合は勤務中も1時間おきに検温をし健康観察を行います。勤務中、上記に抵触する体調となった場合は上

長に速やかに報告の上、帰宅させております。

(3) 室内清掃・消毒について

毎日確実に実施しております。

消毒液の効果・効能が薄れる前に定期的に新しいものに交換しております。

(4) 来所者への対応

アポイントのない訪問を禁止しております。

また、ご来所いただきます方につきましても特別な事由がない限りご不便ではござい

ますが手指消毒等をお願い申し上げます。

何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 Gree

代表取締役 町田友潤



感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

手洗いの前に、手洗いの場所を確認してください。



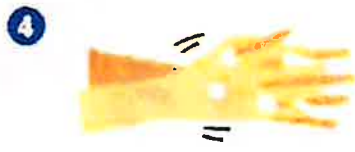
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする



咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を確実に覆う



② ゴムひもを耳にかける



③ 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省

厚労省

検索



熱中症予防 × コロナ感染防止で 「新しい生活様式」を健康に!

【新しい生活様式】とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保
②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。



熱中症を防ぐために

ウイルス
感染対策は
忘れずに!

マスクをはずしましょう



屋外で

人と2m以上

(十分な距離)

離れている時

〔 マスク着用時は 〕



激しい運動は避けましょう

のどが潤いていなくても
こまめに水分補給をしましょう



気温・湿度が高い時は

特に注意しましょう





暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ



のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう



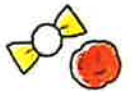
・1日あたり
1.2L(1.2リットル)を目安に



1時間ごとに コップ1杯
入浴前後や起床後も
まず水分補給を

ペットボトル
500mL 2.5本

・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに



エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

注意

一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど2か所を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する



- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定



暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で適度に運動(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度)

水分補給は忘れずに!



- ・毎朝など、定時の体温測定と健康チェック
- ・体調が悪い時は、無理せず自宅で静養

知っておきたい 熱中症に関する大切なこと

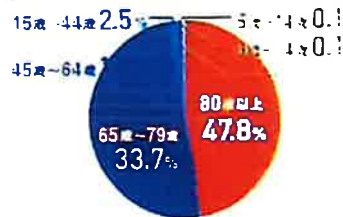


熱中症による死亡者の数は
真夏日(30℃)から増加

35℃を超える日は特に注意!

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

■年齢別 熱中症死亡者の割合

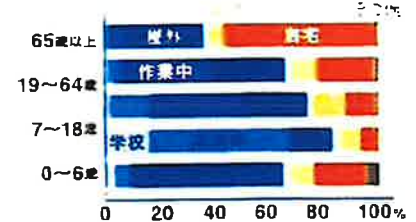


出典:「熱中症による死亡数」人口動態統計2018年(厚労省)

熱中症による死亡者の
約8割が高齢者

約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

■年齢・発生場所別 熱中症患者の発生割合



出典:「救急搬送データから見る熱中症患者の特性」国立環境研究所 2009年

高齢者の熱中症は
半数以上が自宅で発生

高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。

周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

